

# 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## I 概況

新型コロナウイルスが5類感染症の位置付けとなったことから行動制限はなくなり、社会経済活動は活発に動き始めました。当センターとしましては、しばらく開催を控えていた諸会議等の再開や6月の定時総会もコピスみよしホールで開催することができました。

構成市町が主催する産業まつり等にも積極的に出店し、パターゴルフや手芸品の販売を行いながら来場者にセンターについてPRし、入会促進に努めました。

センターの運営状況としましては、令和5年10月に開始されたインボイス制度に対応するため、やむを得ず事務費の値上げを行いました。

新たな会員の入会促進並びに退会抑制対策としまして、夫婦で会員の場合、一方の会員の会費を半額とする夫婦割引制度を開始し、現在92組の会員が適用されています。

安定したシルバー人材センター運営をしていく上での指針となる「入間東部シルバー人材センター中期計画」を策定し、施策に取り組み1年が経過しました。

令和5年度の事業実績につきましては、会員数1,917人(中期計画における当該年度目標値に対する達成率91.5%)、受注件数2,868件(同85.1%)、契約金額11億3千7百万円(同98.6%)、また毎年7月に実施する「安全就業強化月間」の期間中の傷害・賠償事故0を目指しましたが傷害事故が7件発生し、全ての項目で目標値に届きませんでした。計画最終年度には目標が達成できるよう引き続き施策を検討・実施してまいります。

なお、中期計画の目標値と実績額の差につきましては、適正就業の観点から請負として契約していた一部業務について内容を精査し、派遣契約への切替えを推進しましたので、結果として派遣契約は増加しましたが、切替えのため請負契約は減少してしまったことも要因の一つとして挙げられます。

## II 事業の概要

### 1 会員数

	前年度末 会員数	当年度 入会数	当年度 退会数	増減	当年度末 会員数
男	1,329人	137人	186人	△49人	1,280人
女	646人	95人	104人	△9人	637人
計	1,975人	232人	290人	△58人	1,917人

会員数は前年度末より58人減の1,917人となりました。退会者は290人で、前年度より58人減少しました。一方、新規入会者は232人で、シルバーに興味を持っていただけるよう入会案内チラシを新聞折込みし、入会説明会を案内するなどした結果、説明会参加者は増加しましたが、センターも仕事の選択肢の一つとしてまずは就業内容等について聞いてみようということで説明会に参加した方も多くおり、すぐには入会に結びつかず前年度より23人減少してしまいました。

入会理由は、経済的理由が最も多く54.3%、次に生きがい、社会参加が18.1%となっています。退会理由は、死亡を含む病気(本人)が最も多く47.2%、次に加齢が13.4%となっています。また、希望する仕事がないという方が26人(9.0%)おり、この割合を減らすため、会員が魅力を感じる就業先を開拓していくことが退会抑制につながっていきます。

令和5年度末の会員平均年齢は75.7歳で、前年度より0.4歳高くなりました。

## 2 事業実績

契約金額累計は、請負契約7億8千2百万円(前年比82.9%)、派遣契約3億5千5百万円(前年比148.6%)合計11億3千7百万円となり、前年比96.2%、約4千5百万円の減となりました。

富士見市立自転車駐車場指定管理業務が令和4年度をもって終了したため、請負契約は大きく前年度を下回りました。

また、適正就業の観点から請負で受託していた業務をシルバー派遣に切替えを推進したことも要因の一つであり、結果として派遣契約は大幅に前年度を上回りました。

また、インボイス制度への対応として10月より事務費を8%から10%に値上げしましたので、今後の動向については注視していくことが必要であります。

三芳町に1月オープンしたスーパーマーケットでは、カゴ・カート回収及び清掃業務を新たに受注することができましたが、全体的にはコロナ禍前には戻れず、厳しい状況が続いています。

## III 事業実施報告

### 1 事故0を目指して、安全就業対策を進めます

賠償事故は7件発生し、前年度の9件から2件ですが減少しました。

安全委員会では、作業中の事故の発生頻度の高い植木手入れや除草作業を中心に委員が手分けして合計15回、62カ所作業現場を巡回し、安全防具の使用状況等気になる点があればその場で注意喚起等を行い、事故防止に努めました。今回発生した賠償事故のうち3件は、草刈機による作業中に起きた事故でした。

飛石事故を防止できれば、賠償事故は格段に減少します。中期計画に基づき、センター全体でより一層の事故防止に取り組んでいかなければなりません。

安全担当者会議を4年振りに開催し、安全担当者の役割並びに会員の安全の確保について改めてお願いしました。

傷害事故は29件発生し、前年度の18件から11件増加してしまい、そのうち自転車運転中の転倒による事故が11件と多く発生しています。

令和5年4月より、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されました。

万が一事故に遭われた際にも自身の命を守るため、ヘルメット着用の必要性について、会員に対し広報紙等で周知してまいります。

会員には日ごろからフレイル予防に取り組んでいただくため、毎月のお知らせとともに「フレイルだより」をお送りしています。また、事故予防の一環として、会員向け体力測定実施にむけ、理事を対象に模擬体力測定を行いました。

### 2 シルバー人材センターらしい仕事を目指して、適正就業を推進します

就業交替の説明会は、希望者のみの参加ではありますが実施しました。また、面談については2カ所の会場で実施しました。

会員相互の連帯と親睦及び会員の就業が確実かつ安全に行われるよう編成している仕事別グループリーダーの会議を4年振りに開催しました。

会議は、安全委員会委員長より安全就業について説明していただき、また、事務局より改めて仕事別グループリーダーの役割等について説明を行いました。

シルバー人材センターにおける会員の就業形態は請負・委任と派遣、職業紹介がありますが、適正な形態での就業を推進する観点から、請負で受託していた業務について就業内容を改めて精査し、一部を派遣に切り替えるなど適正な就業形態に努めました。

### 3 あらゆる機会を通じて、就業機会を確保します

富士見市から指定管理者として受託していましたが、令和5年度以降は選定していただくことができず令和4年度をもって終了しました。そのため期間や人数は限られてしまっていますが、派遣業務として新指定管理者より受託し、就業しました。

三芳町の工場跡地にスーパーマーケットがオープンし、カゴ・カート回収及び清掃業務を新たに受注し、会員の就業する場を得ることができました。

植木・除草作業就業会員の高齢化に伴い人員不足は深刻で、受けられる件数も限られてしまい、地域によっては予約の一斉受付からほどなくして予定数に達してしまうなど、発注者には迷惑をかけてしまっています。配分金単価の見直しや会員向け広報紙に募集案内を掲載するなどして就業会員を探していますが、難しい状況であります。

4月には統一地方選挙が執行され、選挙公報の全戸配布、及びふじみ野市と三芳町では、派遣による選挙事務補助業務を受託し、多くの会員に就業していただきました。

### 4 強固な組織づくりを進めます

強固な組織づくりのためには、会員の拡大は欠かせない事項ではありますが、会員数はコロナ以降減少が続き、歯止めがかからない状況となっております。

そのような中、入会手続きを簡素化することにより入会を促進することを目的としてWeb入会説明会を開始しました。Web上でシルバーについての説明を視聴し、理解いただければ申込書等をダウンロードして入会申込受付日に提出し完了するようにしました。

また、入会強化策として、9月及び1月には、シルバーでの働き方などの紹介や入会説明会の日程を記載したチラシを新聞折込みしました。

入会説明会を土曜日に開催するなどして説明会への参加をしやすくした結果、参加者は増加しましたが、シルバーも今後仕事する上での選択肢の一つとして捉え、すぐには入会申込みをせず、とりあえず話を聞いてみようとする参加者もあり、結果として新入会員数は前年度より減少してしまいました。

サポーター活動は、定時総会の通常開催に合わせ、7人のサポーターに受付業務をお手伝いいただき、来場者はスムーズに入場することができました。

インボイス制度については職員が発注者に丁寧に説明した上で事務費を値上げしましたので、大きな影響は出ませんでした。引き続き動向を注視してまいります。

今後は、フリーランス法(特定受託事業に係る取引の適正化等に関する法律)の施行が令和6年秋頃予定されており、新しい契約方法にセンターとしてしっかりと対応してまいります。

### 5 会員の融和を進めます

会員の融和を進めることは、退会抑制の観点からも重要であります。

会員作品展は、ふじみ野市役所ギャラリー及び三芳町藤久保公民館で開催し、延べ40の方が、合計68点出展されました。前回から会員のお孫さんの作品も出展募集し、今回お二人が出展されました。

清掃ボランティアは、11月にふじみ野市福岡中央公園を中心に実施しました。公園内並びに歩道上の清掃を会員及び職員合計33人が参加し無事に終了しました。

会員同士の親睦や情報交換等で有意義である親睦旅行について、コロナ禍で実施を控えていましたが、行動制限がなくなりましたので、令和6年度実施に向け福利厚生委員会で検討しました。

また、第4回グラウンド・ゴルフ大会を4年振りに開催し、28人が参加しました。グラウンド・ゴルフ初心者の方もたくさん参加され、みなさん汗をかきながら楽しみました。

## 6 積極的な PR 活動を推進します

コロナによる行動制限がなくなり、各市町のイベントも通常通り開催され、センターも PR の機会と捉え、積極的に参加しました。

6 月にはふじみ野市・三芳町環境センターにおいて第 7 回エコラボフェスタが開催され、センターも参加しました。リサイクル家具の販売、自転車の無料点検などを行いました。

秋には各市町の産業まつり等が 4 年振りに催され、センターも出店しました。パターゴルフや会員手作りの手芸品などを販売し、来場者に対しセンターの PR を行いました。

また、期間限定ではありますが、構成市町のホームページにバナー広告の掲出や今回はふじみ野市と三芳町になりますが、全世帯に配布される広報紙に有料広告を掲載するなど、積極的な PR 活動に努めました。

有効なセンターの PR 方法については、広報委員会で引き続き研究しました。

センター広報紙は、興味を持ってもらう記事と親しみやすい広報紙を心がけて計 4 回発行しました。第 24 号と第 25 号では「会員の声」と題して、様々な場で就業されている会員の声を紹介しました。